

# JAしまねびより 8

2018

August Vol.29

特集 島根のいいもの再発見!! 「斐川町 タマネギ」 斐川地区本部

来月の  
外勤日は

9月15日(土)



斐川平野  
収穫と築地松



島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー！

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

## 【斐川町 タマネギ】

8月は、斐川地区本部。出雲市斐川町で、タマネギの生産に取り組む、常松種苗(株)の常松信光社長にお話をお伺いしてきました。



お話を伺った常松信光社長



簸川平野に広がるタマネギの圃場。

先代の父親の時代からタマネギを栽培しています。平成23年に法人化し、種苗事業とタマネギ栽培を中心に農業を営んでいます。私自身は会社勤めを経て、農業に携わって15年になります。苗部会の一員としてタマネギをはじめトマトやスイカ、ナスビ、キュウリなどの種苗事業を行なっていく中で、おかげさまで、部会員として苗の品質は高い評価を頂いています。斐川町管内では、盛んにタマネギが栽培されていましたが、近年は生産者が減少、出荷量も減りつつあります。そうした中で、タマネギの生産を徐々に

タマネギの生産をはじめてどのくらいになりますか？



今年のタマネギは出来が良く、収穫量もいつも以上！

種苗店から苗部会に注文を受け、ナスビやキュウリ、トマトなどの苗を4月頃まで作り、5月をめどに出荷します。タマネギは9月に種を播いて10〜11月に苗を販売。自社での栽培は11月初旬に定植し、年が明けた5月下旬頃から6月にかけて、葉が倒れ始めたら収穫の合図、土から抜いていきます。その後7月に入ると、タマネギ苗を作るための土壌消毒など、管理を行い、一年を通して、なるべく効率よく

年間の栽培(事業)スケジュールはどのようなものですか？

拡大、現在は3・8ヘクタールの面積で栽培しています。

作業するよう心掛けています。

## タマネギの栽培で感じる 事や、大変なことなどお りますか？

露地の色々な野菜と同じだ  
と思います。天候や病気には  
細心の注意を払っています。  
特にべト病が厄介で、病  
気が蔓延しないように管理を  
徹底しています。また今年の  
2月、急激に冷え込んだ影響  
で早生（わせ）品種のタマネ  
ギの生育が遅れました。毎年、  
色々なケースが出現し、試行  
錯誤しています。自分のイ  
メージ通りにはいかず何が正  
解か、さっぱりわからない事  
も多々あります。ただ、失敗  
を糧に、困難に立ち向かって



出荷作業は機械選別を導入し、効率があ  
がったとはいえ、細々とした手作業や人の  
目ももちろん重要で、一番手のかかる作業。



余分な茎と根を切り落とす作業は、タマネギ  
を長持ちさせるためにも、とても大事。

いく事が農業の面白みでもあ  
ると感じています。去年は初  
めて、モチ米を栽培している  
圃場約1ヘクタールの裏作と  
してタマネギを定植し、無事、  
収穫することができました。

タマネギの出荷には、選別  
機を使いSから2Lサイズに  
分別して出荷します。作業量  
が多く、収穫したタマネギの  
先端、余分な茎部分と根を、  
ハサミを使い1個1個手作業  
で切ります。みかんの選別機  
を応用した穴にタマネギを通  
して大きさを選別。この一連  
の作業をパート従業員7〜8  
人で行っています。適度な大  
きさや長さになった苗を品種  
ごとに100本単位、ワラで  
結んで出荷します。多い時で  
20万本位出荷します。すべて  
手作業なので、労力をとても  
要します。

## タマネギは大小あります が、大きさによって味の 違いなどあるのですか？

大きさによる味の違いは特  
にないと思います。多くのご  
家庭でタマネギは身近な野菜  
で、色々な食べ方があると思  
いますが、焼く・煮込むこと  
で、タマネギ本来の美味しさ  
を楽しむことができます。大  
きさによっての味の違いは大  
差ないものの、早生（わせ）  
のタマネギは一般的に甘みが  
あり、柔らかいとされ、奥手  
はよりシャキシャキ感を堪能  
することができます。また、  
現在栽培しているタマネギは  
加工用として多く出荷してお  
り、なるべく大きくするよう  
にしています。

## 今後の抱負や展望を聞か せてください。

法人としてタマネギ生産に  
携わる上で、従業員の存在が  
あってはじめて、事業として  
成り立つので、従業員を第一  
に考えています。収穫や出荷  
時など大事な時期に人手がい  
ないと後手後手になり計画通  
りにいかなくなります。従業  
員を第一に考え、ちよつと空  
いた時間や、土日のみの勤務



出荷作業には多くの人手を要し、その人  
手を確保することが経営の鍵を握るという。

など、個人の生活スタイルに  
合わせて働いてもらえるよう  
努めています。遠方から出勤  
する従業員もおり、ありがた  
い限りです。みんなが和気あ  
いあいとしながらも、真剣に  
作業する姿は心強いです。少  
子高齢化でタマネギを作る人  
は少なくなってきましたが、食  
卓には必要不可欠なものが、  
食卓には必要不可欠なものが、  
今後も美味しいタマネギを  
作り続けて行きたいと考えて  
います。



常松社長の笑顔に、今後の農業経営の  
変化やあり方を見せられたような気がする。

## タマネギ 一口メモ

斐川町では、以前はタマネギ栽培をする人がたくさんおり、野菜部会も概ね200人の会員がいたが、現在は数十人の規模まで縮小した。タマネギは価格の変動が比較的大きいとされ、輸入品も台頭してきたことから、徐々にタマネギの生産が減少してきた。そこで常松さんは機械化を進め、加工用としての出荷を強化、出東地区では最大規模でタマネギを生産している。規格外のタマネギは社会福祉施設に無料で譲渡するなど、社会貢献も定期的に行っており、斐川町産のタマネギが途絶えないよう使命感を持って生産している。



# ＼チャレンジ／「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

## 島根米の安定的取引拡大と販売拡大に向けた取り組み

需要や引き合いの強い米の生産、販売をすすめることで、長期安定的な販売が確保でき、稲作経営の安定・維持につなげることができることから、JAしまねは販売先卸と事前契約（収穫前契約・複数年契約）の締結に積極的に取り組んでいます。

販売先卸を通じて量販店や中食・外食等の実需者と産地の間で安定取引を拡大していくとともに、産地と実需者との結びつきによる「顔の見える販売」の強化につなげていきます。30年産島根米では事前契約をJA集荷目標値の80%にあたる34,000トンを目指し契約推進を行っているところです。

また、販売先卸ならびに実需者からは、特に「きぬむすめ」と「つや姫」に対しての要望数量（引き合い）が高く、今後ますますの作付拡大が求められています。

一層の生産、販売拡大につなげるべく、販売促進活動にも力を入れており、沖縄県での販売促進活動を4年前から実施するなど、「島根県産つや姫」は認知度を含め定着しています。また、県内においては島根米の販売促進、消費拡大に向けて広告宣伝・PR対策の強化に努めています。



<沖縄県におけるつや姫の販売促進活動>



<きぬむすめのテレビCM>

## 島根米生産者の皆さまへ

JAしまねでは、「農業者の所得増大」を最大目的として、JAに出荷をいただく島根米生産者の皆様からの30年産米の買取手法について以下のとおり実施させていただきます。

1. 出荷時の「仮単価」と、12月の「追加金」の2段階によるお支払いをいたします。なお、お支払いの考え方は29年産と同様とします。

8月以降12月にかけて、全国の作付状況や作況、また収穫量が公表され、これらの状況をふまえた需給見通しなどにより販売価格も左右されます。このことから、より精度の高い買取金をご提示するために2段階によるお支払いにより、生産者の皆さまの所得向上と計画的な営農を支援します。

2. さらに、精算可能財源が生じれば、翌年11月を目途に最終精算金をお支払いします。

これからも、結びつきの強い「島根米」の販売を通じて、高評価の確立を目指してまいりますので、30年産米も1袋でも多くJAへ出荷いただきますようお願い申し上げます。



# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

## 農事組合法人 サンライズうづか

組合長 向山 剛之

海士町の農事組合法人『サンライズうづか』では現在主食用米17ha、WCS（稲発酵粗飼料）用稲2.5haを栽培し水稻中心の経営を行っております。平成19年に経営面積10haでスタートし、現在の組合員数は13名です。耕作放棄地をなくし農地を維持する、地域の発展に貢献するなど地域農業を守るということを基本方針にしています。



JAしまねの農業振興支援事業を活用し平成28年にコンバイン、29年に大型の田植機を導入し、経営規模の拡大、作業効率の向上をすすめ、販売額も1,700万円と順調に実績を伸ばしています。また安心・安全・美味しい農産物を消費者に提供するため「美味しまね認証」の取得に向けた取り組みも始めています。

近年は異常気象・農業者の高齢化・担い手不足など農業を取り巻く環境はとても厳しい状況におかれています。マイナス面ばかりが目立つ時代だからこそ農業振興のチャンスと捉え、JAしまねと共に奮起し魅力ある事業活動ができるよう汗を流してまいりたいと思います。そして我々の取り組みに少しでも共感していただき、新規就農される若者が増える事を心より期待しております。

## 理事会情報（6月29日開催）

### 協議事項

- ① 農業所得増大・地域活性化応援プログラム「平成30年度県域企画応援事業計画」及び各要領の設定について
- ② 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ③ 第4事業年度業務報告書について
- ④ デイスクロージャー誌2018について
- ⑤ 運営体制改革にかかる今後の進め方について
- ⑥ 理事の個別役員報酬額の決定について

### 報告事項

- ① 平成30年度JAしまね農業振興支援事業第1回（6月）申請について
- ② 「摘果メロン」に対する農業誤使用について
- ③ 米穀園芸情勢について
- ④ 畜産情勢について
- ⑤ 平成30年度第2四半期の余裕金運用計画および運用方針について
- ⑥ 平成29年度防犯カメラ寄贈について
- ⑦ 平成29年度カーブミラー寄贈について
- ⑧ 組合と理事との取引（契約）の報告について
- ⑨ 未収金等の債権の償却について
- ⑩ 個人情報法の法違反又は法違反のおそれのある事案に関する報告書の提出について
- ⑪ 平成30年5月末主要実績について
- ⑫ 平成30年5月末月次決算について
- ⑬ 旧松江JA会館跡地の活用について
- ⑭ 就業規則制裁条項の適用について
- その他① 農政をめぐる情勢について
- その他② 青年・女性理事活動報告等
- その他③ 全農低価格モデルトラクターの機種決定について

雲南

## 「おもてなしプロジェクト」 JA自己改革を応援！

JAしまね雲南女性部は、今年度の統一行動として「おもてなしプロジェクト」と名付けたJA支店の美化活動を始めました。JA自己改革の後押しとなるよう「自分たちのJAを自分たちで守る」という意識を女性部員で共有するために、高橋美佐子部長が提案しました。高橋部長は「JAは自己改革の正念場を迎えている。JAをよりどころとしている私たちは大きなことはできないが、一緒に歩みを進めていく姿勢をアピールしたい」と思いを話します。

女性部雲南吉田支部は、植え込み花壇の剪定や入口付近の清掃。大東支部と加茂支部は、玄関周りを花で飾りました。参加した部員は「訪れた方々が、きれいな花で和んでもらえれば嬉しい。小さな活動だが、自己改革への大きな一歩だと感じた」と話します。

大東支店の糸原支店長は「ありがたい一言。JAグループも自己改革の取り組みを加速しているが、私たちには強力な応援団がいることを実感した」と感謝を述べました。



支店職員と協力し「みどりのカーテン」やプランターを準備しました

隠岐

## JAカップ学童野球 松江・隠岐地区予選

JAカップ第35回島根県学童軟式野球選手権大会の松江・隠岐地区予選が7月14日から3日間、松江市鹿島町の深田運動公園野球場など4会場で行われました。24チームが出場し、隠岐からは、都万レッドスターズ・五箇ミラクルズ・西郷ファイターズの3チームが参加いたしました。

大会前日には、隠岐汽船ターミナル内において壮行式が開催され、佐々木賢治本部長が「健闘を祈ります」と各チームを激励しました。

隠岐の島町では島内の子供が減少し、野球チームの維持も困難になってきている中で各チームとも健闘しました。優勝は城西レッドスターズで、8月18日・19日の両日、松江市営球場で開催される県大会へ出場いたします。



くにびき

## くにびき女性部が最優秀賞！ 中四国地区JA女性組織リーダー活動発表

くにびき女性部の諏訪智子さん（津田支部）が7月5日、米子市で開催された2018年度中四国地区JA女性組織リーダー研修会の「組織体験活動発表」に、島根県代表として出場し、最優秀賞に輝きました。

研修会は5日・6日の2日間行われ、9県のJA女性部員約250人が参加し、会員相互の交流を深めました。

当日は、各県の代表が自組織の活動について発表。諏訪さんは「食で繋（つな）がる縁・笑顔が広がる女性部の輪」と題し、郷土食材を使った料理教室や裏方として料理を提供した婚活イベントなど、女性部が関わった、さまざまな活動をユーモアを交え紹介しました。

審査員からは「とても力強く、表現力もすばらしかった。今後、さらに地域を活性化してくれるだろうと期待が持てる発表だった」と講評。諏訪さんは「名前を呼ばれた時は、びっくりした。女性部みんなの活動の賜物。JA全国女性大会でもしっかりPRしたい」と喜びと抱負を語りました。

来年1月のJA全国女性大会に諏訪さんは、中四国代表として出場します。



やすぎ

## 大型特殊免許(農耕車限定) 取得講習会開催

やすぎ地区本部は6月27日・28日の2日間、安来市穂日島町のやすぎ担い手支援センターで、大型特殊免許（農耕車限定）の取得に向けた講習会を開催しました。市内の営農組合や新規就農者など総勢10人に受講いただき、基本操作の確認や試験のポイントなどを学びました。

この講習会は、近年、営農組合や大規模農家において大型機械の導入が増加する中、免許を取得し安全に使用してほしいとの思いから毎年開催しています。講師は免許を持つJAの職員が主となり、受講者は交通ルールなどの座学講座を2時間程度受けた後、敷地内で実際に大型トラクターを運転し、走行確認や方向変換などの練習を行いました。

JAの職員は「試験に受かることも大切だが、安全に使用してもらうことを第一に免許取得の推進に力を入れています」と話しています。



## 斐川

### はとむぎの魅力伝える

はとむぎ茶を中心とした関連商品を開発・販売しているJAしまね斐川地区本部よい食工房は、はとむぎの魅力地域の人たちに広く知ってもらい地産池消につなげようと、はとむぎ料理講習会を同地区本部のあぐりキッチンふぁみーゆで開催しました。講習会には、町内外から約30人にご参加いただきました。講師にはマクロビオティックを実践している郷土マクロビアン岡里美さんを招き、「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して、「はとむぎ冷やし坦々うどん」「はとむぎ入りポテトサラダ」など計4品を紹介しました。岡さんに手ほどきを受けながら調理をして、完成したあとはみんなで味わいました。岡さんは「料理を通じてマクロビオティックを楽しんでもらうことが一番の喜びです」と話し、参加者からは「いろいろな加工品があり様々な食べ方ができアレンジしやすいのも魅力」と感想が寄せられ、講習会は大盛況となりました。



## 隠岐 どうぜん

### 西ノ島町畜産振興施設が完成 家畜市場を開催

6月26日(火)浦郷市場(旧浦郷農協管内)老朽化に伴い建設が進められていた「西ノ島町畜産振興施設(旧黒木農協管内、美田船越)が完成しました。西ノ島町主催の竣工式が施設のお披露目を兼ねて行われ、当地区本部もJA農産加工場にて製造した紅白餅でもち投げをしました。

この西ノ島町畜産振興施設は、穏やかな美田湾の海岸道路沿いに立地しており、誘導レー尔付家畜市場セリ場、郡内家畜集出荷施設、飼料倉庫、糞尿処理施設、畜産研修施設が配置されています。当地区本部ではこの機能を余すところなく活用し、今後畜産業が地域の旗手となるよう取組んでまいります。また、7月5日(木)には同施設初の西ノ島家畜市場が開催されました。子牛119頭・成牛10頭の上場があり、畜産農家をはじめ関係者の方々にご協力いただき無事にセリ終えることができました。



## 石見銀山

### 職員海岸清掃ボランティア

大田市の各種団体で構成する「大田市海岸を美しくする活動実行委員会」は7月15日、同市久手町の「迫海岸」の清掃作業を行いました。実行委員会の一員である石見銀山地区本部からは、39名の職員が参加しました。

同実行委員会は、毎年海水浴のシーズンになると市内の関係機関、市民へ海岸清掃ボランティアへの参加を呼びかけ、海岸のごみ拾いをしています。参加者が一斉に清掃することで、生活環境の保全や海洋環境の保全の意識を高めることを目的としており、今年で15回目を迎えます。

当日は早朝から多くの構成団体が集まり、炎天下の中、海岸清掃を行いました。



迫海岸のごみ拾いをする職員

## 出雲

### 県版GAP「美味しまね認証」 認証産品を生産者がPR

ラピタ本店で7月17日から22日の6日間、島根県版の農業生産工程管理(GAP)制度「美味(おい)しまね認証」の認証産品のフェアを開きました。17日と21日は菌床しいたけ、アスパラガスの生産者らが店頭立ち、試食販売で消費者と交流しました。

販売したのは菌床生しいたけ、アスパラガス、青ネギ、「こめたまご」の4産品。試食には全ての産品を使ったオムレツを用意しました。会場には「美味しまね認証」の詳しい説明を掲示し、安全性と優れた品質が認められた産品であることをPR。来場者は「今まで意識したことがない制度でしたが、話を聞いて初めて分かりました」と話しました。

(有)旭養鶏舎、(有)福田ファームの「こめたまご」、JAしまねエコネギ研究会県認証グループの青ネギは、平成21年に認証を取得。JAしまね出雲しいたけ部会が生産する菌床生しいたけ、JAしまね出雲アスパラガス部会美味しまね認証グループが生産するアスパラガスは、今年3月に取得しました。安全・安心を目に見える形でPRしていきます。



販売した4産品

西いわみ

## 「おいしい」を届けます。 益田産アールスメロン初出荷

JAしまね益田メロン部会（部会長松本哲夫）は7月4日、夏の贈答需要期に向けたメロン「アールス」の出荷を始めました。

同部会では「アールス」の出荷時期を7月出荷の夏作と10月出荷の秋作に分けて栽培しています。

当日は、5戸の生産者が48個のコンテナを持ち込みました。出荷に先立って選果スタッフや部会員らが立ち会い、品質を確認しました。

JAでは夏作「アールス」の出荷目標を13,000ケース、約104トンと見込んでおり、京阪神市場や県内各市場に夏の味覚を届けます。



本店

## アグリミーティング2018 最新技術や作業服を紹介

7月7、8日の両日、松江市くにびきメッセでアグリミーティング2018と第8回農機総合展示会を開催し、県内各地から担い手の皆様をはじめとした2,111名にご来場いただきました。会場ではスマート農業ブースや各種相談ブースをはじめ、セミナー、農機展示など、担い手のニーズに沿ったものを多数取り揃え、最新情報を提供しました。農作業服を提案するファッションショーでモデルを務めたのは、各地区本部管内の担い手のみなさんです。特別ゲストとして竹下組合長とJA女性部の長島部長が登場するなど、会場は大変盛り上がりました。当日は島根大産直市も開催し、出雲農林高校の生徒さんや地区本部などが、新鮮な野菜や農産加工品を販売しました。



気分はパコレモデル  
竹下組合長と出雲農林高校の生徒さん

島根おおち

## 都賀小水力発電所始動

島根おおち地区本部が保有している、都賀小水力発電所が改修工事を終え、7月13日に竣工式をとり行いました。

都賀発電所は、江の川水系塩谷川の豊富な水資源を活かし、農業の近代化に伴う電力需要の増大に呼応するため、昭和38年に建設されましたが、およそ半世紀に渡る稼働で老朽化が進んだため、再生可能エネルギー特別措置法の法改正を転機と捉え、同法に基づく電力の固定価格買取制度（FIT）を利用し、29年度より大規模改修工事に着手しました。

改修後の新たな施設では、年間145万kwh（キロワットアワー）の売電を予定しており、安全なクリーンエネルギーの活用・確保に向けた取り組みをすすめ、地域の水資源を活かした小水力発電所を後世に引き継ぎます。島根おおち地区本部では、都賀小水力発電所の他、角谷小水力発電所も保有しており、10月竣工予定としております。

改修工事にあたり、地元の皆様のご理解とご協力を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。



いわみ中央

## みんなで取り組もう！ 日差しを遮るみどりのカーテン

JAしまねいわみ中央地区本部は、JAしまねとJAしまね女性部の統一行動『みどりのカーテン』の実施にともない、5月から6月にかけて各支店でゴーヤやアサガオ、ふうせんかずらなどの苗をプランターに植えました。暑い日差しをさえぎるみどりのカーテンが、今では窓を覆うくらいにまでなりました。これからも支店の職員で水やりなどをしながら育てていきます。支店だけでなく、JA女性部のそれぞれの家庭においてもみどりのカーテンを実施しています。今年は特に猛暑が続き、このみどりのカーテンが大活躍してくれることでしょう！





タテのカギ



- ①電流を流したり切ったりする装置
- ④深谷、下仁田、九条といえば
- ⑥膝より下、くるぶしより上
- ⑦野山を耕して畑にすること
- ⑨鉄棒や跳び箱を使って行う一体操
- ⑪木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
- ⑬体の90%以上が水分だという、水にすむ生き物
- ⑮年下の女きょうだい
- ⑰田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- ⑲あ、おいしそう。ひと——ちょうだい!
- ⑳カイコの繭から作ります

ヨコのカギ



- ①十五夜に飾る植物
- ②米の収穫作業の一つ
- ③エレベーターの表示では「B」
- ④よく飼われているペットなんだニャ
- ⑤石原裕次郎と牧村句子のデュエット曲「——の恋の物語」
- ⑧——足りて礼節を知る
- ⑩和風の携帯薬入れ。黄門様のドラマでおなじみです
- ⑫恋愛運や金運などを見てもらいます
- ⑬カラオケ店で離さない人もいます
- ⑮招く人がホストなら、招かれる人は
- ⑰月の模様はウサギがこれをついているように見えるとか
- ⑲佐渡島に保護センターがある鳥

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	6	9		13	16	20
2			11		17	
		10				
3	7				18	21
	8			14		
4			12		19	
5				15		

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1  
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係  
平成30年9月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆  
「ナツマツリ」

ヒ	マ	ワ	リ	バ	ス
ヤ	ス	リ	ア	ラ	ブ
ケ	ア	ジ	ソ	リ	
	ホ	イ	ツ	ス	ル
ツ	ル	カ	イ	テ	
ク	モ	リ	エ	ツ	グ
エ	ン	マ	イ	ナ	ス

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ  
健康散歩  
JA島根厚生連

胸部CT検診を受けてみませんか?

- ・ 喫煙者、喫煙歴がある方
- ・ 咳、痰などが続く方
- ・ 40歳以上の方
- ・ 家族に喫煙者がいる方
- ・ 家族にがん歴のある方
- ・ 家族・親戚に肺の疾患がある方

特に検診をお勧めする方

- ・ がん発見率が高い（胸部X線検査の約10倍）
- ・ 微細ながんを発見できる（5mm程度まで発見可能）
- ・ CTで発見された肺がんは早期の比率が高く、その治療成績も良好
- ・ 喫煙による肺へのダメージがはっきりと描出される
- ・ 一般診療に比べ低線量被曝
- ・ 短い検査時間（5分程度）

胸部CT検診の特徴

日本人の死亡原因の第1位はがんで、その中で最も多いのが肺がんです。肺がんは早期ではほぼ無症状で、症状が出てからでも肺がん以外の病気でも見られる症状（咳や痰など）が多く、早期発見が難しい病気です。また、肺がんは「たばこを吸う人の病気」というイメージが強く、実際に喫煙との関連が非常に大きい病気ですが、近年、日本人男性の約3割、女性の約8割の肺がんは非喫煙者に発症しています。肺がんには喫煙の影響が非常に大きいタイプとそうでないタイプがあり、喫煙以外の生活習慣や受動喫煙、環境などとの因果関係もあるので、誰もが十分にかかる可能性があります。

肺がん検診と聞いてまず思いつくのは胸部X線検査（いわゆるレントゲン）という人が多いと思います。では、「胸部CT検査」による肺がん検診というものもある事をご存知でしょうか？現在、厚生労働省が定める肺がん検診は、40歳以上の人を対象とした年1回の胸部X線検査や、痰を採取して顕微鏡で調べる喀痰検査です。しかし、これらの検査では早期の肺がんを発見するには限界があります。胸部X線検査や喀痰検査では発見しにくい、より早期の肺がんを見つけるためには胸部CT検査による肺がん検診が有効です。



8月



安全・安心届けます  
出雲で採れるうまいもん

# 「シャインマスカット」



JAしまね出雲ぶどう部会  
門脇 雅宏さん

## 生産者インタビュー

今月は、大社町でシャインマスカット30アールを栽培する、JAしまね出雲ぶどう部会の門脇雅宏さんにお話を伺いました。

——いつからシャインマスカットを栽培されていますか？

出雲へのUターンをきっかけに、平成25年度のJAのリースハウス事業を活用し、ハウス3棟でシャインマスカットの栽培を始めました。就農は平成27年3月で、今年が4年目になります。

——シャインマスカットの栽培について教えてください。

島根県では10年位前から栽培が盛んになり、皆さんにおいしく食べていただいていることもあって、右肩上がりが増えていきます。新規就農者も増えて盛り上がりつつあるようです。

加温栽培のハウスでは1月終わり頃に芽が出て、3月終わり頃には花が満開になります。その後シベリン処理や摘粒作業、傘掛けなどをして、丁寧に形作っていきます。今年は低温の影響などで少し

遅れましたが、私のところでは加温が6月終わり頃から収穫が始まり、無加温のハウスでは9月末頃まで収穫する予定です。

——シャインマスカットを栽培してみたいかがですか？

今のところ栽培も経営も順調で、成功していると思っています。ハウスの設備が整っていて、自動灌水の養液土耕（液肥を自動で点滴するシステム）は肥料の効きがよく、ハウスも長期展張（ハウスのビニールを何年も張ったままにできる）で助かっています。高品質なシャインマスカット栽培にもつながっていると思います。

良いものを作って、それが消費者の皆様喜んでいただけるのが嬉しいです。

——栽培するうえで心がけていることはなんでしょうか？

糖度が高く、高品質なものができるよう、枝をこまめに間引いてシャインマスカットに栄養がいくように心掛けています。また、糖度のチェックを徹底しています。一房房糖度を測るのは大変な作業ですが、就労支援施設の方に聞いてもらうなど体制を整え、安全・安心・高品質なものを出荷するよう心掛けています。

——最後にシャインマスカットのPRをお願いします。

シャインマスカットは種なしで食べやすく、とても甘いのが特徴です。今が旬なので是非食べてください！



# シャインマスカットの栽培

J A しまね出雲地区本部管内でのシャインマスカット栽培は、平成17年から試験的に始まりました。現在は生産者151人、栽培面積約24ヘクタールで取り組んでおり、デラウェアに次ぐ新たな特産として注目を集めるべくです。今年産の収穫も始まり、現在、糖度18度以上の甘くておいしいシャインマスカットが販売されています。今年度J A しまね出雲地区本部では、シャインマスカットの出荷量140トンを目指しています。

## ここが POINT

### ○ 選ぶポイント ○

果皮にみずみずしい張りがあり、色鮮やかで濃いものを選びましょう。粒の大きさがそろっているものを選ぶのもポイントです。

### ○ 保存のポイント ○

保存する場合はポリ袋に入れて野菜室へ。果皮についた白い粉(ブルーム)は鮮度を保つ役割を持つため、食べる直前まで洗い流さないようにしましょう。

### ○ 食べるポイント ○

ぶどうは房の上の粒から熟し始めるため、房の下より上の粒の方が糖度が高いといわれています。食べるときには下の部分から食べることで、一房食べたときに甘さが均一に感じられます。

## トピックス

8月2日に島根県産シャインマスカットの品評会が行われ、この度インタビューさせていただいた門脇さんが島根県知事賞(1房の部最優秀賞)、伊藤康浩さん(出雲市)が中国四国農政局長賞(5kgの部最優秀賞)に輝きました。翌3日には出雲大同青果(株)で展示競売会があり、出雲地区本部管内から受賞した7点はすべてラピタが競り落としました。県知事賞は10万円でした。



その他の受賞者は以下の通りです。  
1房の部▼島根県農業協同組合長賞 能地利典さん(益田市)▼島根県果樹研究同志会長賞 浅津英雄さん(出雲市)▼青果市場社長賞 伊藤康浩さん 5kgの部▼島根県農業協同組合長賞 浅津英雄さん▼島根県果樹研究同志会長賞 前島秀樹さん(出雲市)▼青果市場社長賞 神田淳一さん(出雲市)

# シャインマスカットのおいしいレシピ

## マスカットサラダ



### 〈材料〉[2人前]

- シャインマスカット ……10粒くらい
- ミニトマト ……5個くらい
- ベビーリーフなど ……適量
- レモン汁 ……25cc
- 塩 ……小さじ1
- オリーブオイル ……大さじ2
- コショウ ……少々

### 〈作り方〉

- ① ボウルにレモン汁と塩を入れ、塩が溶けるまで混ぜる。
- ② ①にオリーブオイルを少しずつ入れながら良く混ぜたら、コショウを入れ混ぜる。
- ③ マスカット、トマトを半分に切る。
- ④ ①のドレッシングにベビーリーフなどとマスカット、トマトを入れ、混ぜ合わせたら完成!

## シャインマスカットの二層ゼリー



### 〈材料〉[カップ5個分]

- シャインマスカット ……お好みの量
- 水 ……100cc
- 牛乳 ……200cc
- 炭酸水 ……150cc
- 水 ……50cc
- グラニュー糖 ……25g
- ゼラチンの素 ……5g

### 〈作り方〉

- ① 鍋に水を入れ沸騰したら火を止め、杏仁豆腐の素を入れて溶かす。
- ② 素が溶けたら牛乳を入れ混ぜる。
- ③ 容器に均等に分け入れて冷やす。
- ④ 鍋に水を入れ、沸騰したら火を止め、ゼラチンを入れて良く溶かす。
- ⑤ 炭酸水を④に入れ、混ぜ合わせる。
- ⑥ シャインマスカットを②の容器にお好みで並べ、⑤を均等になるように分け入れる。
- ⑦ 冷蔵庫で冷やして固まったら完成!

平成30年度 JAしまね出雲地区本部

# ちびっこ農業交流スクール



## 開校式

石川本部長が「暑いので体調管理には気をつけて、楽しい思い出を作ってください。農家の皆さんには元気にお礼のあいさつをしましょう」と呼びかけました。



JAしまね出雲地区本部は7月26日、27日の2日間、出雲地区本部管内の小学生を対象に「ちびっこ農業交流スクール」を開校しました。今年は、5、6年生の36人が入学。スクール生は、農家ホームステイや収穫体験、販売体験などを通じて、収穫の喜びや食と農業の大切さを学びました。

1日目  
午前

## シャインマスカット、アスパラガスの収穫体験

しっかり選んで収穫!



大社町  
池田晴久さんの  
ぶどう園

大切に育てられたシャインマスカットがたくさん実っています。



荒茅町  
松本尚幸さんの  
ハウス



アスパラガスを袋一杯収穫させてもらいました!



1日目  
午後

## 収穫させてもらったシャインマスカットでお菓子作り



班のみんなと協力してアイズゼリーを作りました。

おいしいゼリーができたよ!



ゼリーが固まるまでチャクリムクイズ大会で野菜の勉強をしました。

2日目  
午前

## パプリカの収穫体験



色鮮やかなパプリカをたくさん収穫させていただきました!

2日目  
昼

## お楽しみの昼ごはん

昼食は地元野菜たっぷりのカレーライス。JA女性部中部地区の皆さんが作って下さいました。



女性部の皆さん  
とってもおいしい  
カレーライスをありがとうございました

1日目  
午後

2日目  
朝

## 農家へホームステイ

スクール生は3~4人の10班に分かれ、出雲市内の農家にホームステイしました。

平田野野菜集荷所で稲田三津男さんから青ネギの調整作業を教わりました。



古志町の三谷秀夫さんのお宅では、モロヘイヤの調整、袋詰め作業を教えてもらいました。



遠心分離機でハチミツを取り出しました。

2日目  
午後

## ラピタで野菜販売体験

みんなの頑張りで大盛況!  
たくさん販売しました!

おいしいメロンは  
いかがですか~



ラピタ店内でチラシを配り宣伝。



## 閉校式

楽しかった一泊二日の思い出にみんなで記念撮影。36人全員が無事に農業交流スクールを修了しました。



店頭のPOPも  
班ごとに協力して  
自分たちで作りました。

ほっとで楽しいニュースが満載！

## 出雲西部集荷所建設 生産拡大、農家所得増大を目指す

J Aしまね出雲地区本部は、老朽化している既存の集出荷施設の機能を移転し、神西新町に出雲西部集荷所を建設します。7月9日には起工式が開かれ、県、市、地元関係者、施工業者、J A役員ら約30人が出席しました。施設稼働は11月を予定しています。

施設ではブロッコリーの集荷と、既存施設で行っているきゅうり集荷・選果、そば集荷・乾燥を行う予定です。管内のブロッコリーは、平田地区で「かあちゃんブロッコリー」の愛称でブランド化され、集出荷体制が確立されていますが、旧出雲地区でも転作物として栽培に取り組み、平田地区と合わせ一大産地を確立する構想です。

S C S冷蔵庫ではシャインマスカット、神在ねぎ、菊、パプリカのほか、パッキングセンターと連動し、菌床しいたけ、アスパラガスなど、多品目で活用できるよう計画・検討しています。最終的には出荷量、出荷時期をコントロールできる体制を構築し、有利販売による農家所得増大を目指します。

総事業費は約2億円で、出雲市の補助事業から6分の1の助成を受けて建設します。J Aの農業施設が集約し、交通の要所も近い神西新町に建設し、物流コストの削減、人員集約による効率化を図ります。

石川寿樹本部長は「新しい特産を興すとともに、販売強化もねらっている。農業振興を図っていききたい」と意気込みを話しました。



あいさつをする石川本部長

## 東部地区でJ Aかがやく女性交流会 & 家の光大会開催

J Aしまね出雲女性部東部地区は7月22日、J A平田中央支店で、J Aかがやく女性交流会&家の光大会を開催しました。女性部員約200人が参加。日頃の活動を発表し合い、部員同士の親睦・交流を深めました。女性部東部地区の高橋早苗地区長は「暑い日が続いていますが、今日は涼しい会場で目一杯楽しんでください」とあいさつしました。

大会では、支部活動発表として同女性部西田支部の「すみれ教室」が銭太鼓を披露。日頃の練習の成果が表れた華麗な演技に、会場から大きな拍手が贈られました。また、同女性部塩冶支部の飯國恵美子さんが、全国家の光大会の記事活用部で最優秀賞を受賞した体験発表「輝く私たちのえんまん座」を改めて発表し、応援発表では同支部の「えんまん座」が6つの演目を披露しました。パワー全開の舞台上に観客も身を乗り出し、会場が一体となって楽しみました。

作品展示コーナーには各支部が作成した手芸作品などの力作が多数並んだほか、加工品や特産品の販売コーナーも設けられました。大会の最後には健康運動指導士の山根千恵美先生による研修会も開かれ、女性部員らは1日を通して元気が出る時間を過ごしました。



西田支部「すみれ教室」の支部活動発表



塩冶支部「えんまん座」の応援発表

## 平田・大社地区で夏祭り 地域に夏の訪れ告げる

夏の到来を告げる夏祭りが各地で行われ、J A職員も参加し賑わいをみせました。

東部地区では7月28日、「第40回平田まつり・ひらた七夕仮装船行列」が開催され、J A東部ブロッコリーの職員17人が参加しました。今年は、みんなの願いが叶うようにと「ドラゴンボール」をモチーフにした仮装船を製作。当日は他の仮装船とともに市街地を練り歩きJ AをPRするとともに、ポン菓子を配りながら来場された方々と交流しました。

大社地区では、J A大社支店と出雲女性部きづき支部の主催で「第12回大社支店納涼祭」を開催。女性部が野菜市、パン販売などを行ったほか、ラピタ大社店、ファミリーマートも協賛し、各種屋台をオープン。会議室ステージは女性部グループの踊りや、地元バンド「ジージーズ」の生バンド演奏などで盛り上がりました。地元保育園の園児たちもダンス発表で参加するなど、幅広い世代が交流しました。



JAは「ドラゴンボール」の仮装船で参加



大社支店納涼祭「出雲阿国グループ」の舞台

## スイートコーン祭り開催 まき営農組合の女性組織が活躍

まき営農組合は7月21日、22日の両日、馬木町でスイートコーン祭りを開きました。同営農組合の女性組織「あさがおの会」が中心になって栽培したスイートコーンを販売するイベントで、今年で10年目。今年は長雨の影響で生育が遅れ、十分な収穫ができませんでした。両日とも多くの来場者で賑わいました。

「あさがおの会」は女性6人で構成。同営農組合でスイートコーンを担当する小村孝さんが先導し、種まきから管理をしてきました。このイベントのために10,000本、また、盆に向けてさらに7,000本を栽培しました。小村さんは「毎年安定して多くの方が来場して下さるイベントになった。女性組織の活躍で盛り上がっている」と話しました。

来場者は「以前食べたものがおいしかったので来た。畑にも入らせてもらい、よい経験ができました」と話しました。



多くの来場者で賑わう会場

## 荒木幼稚園児がぶどうの収穫を体験 JAしまね出雲青年連盟大社支部

出雲市立荒木幼稚園の園児が7月13日、大社町にある手銭栄二さんのぶどう園でデラウェアの収穫を体験しました。JAしまね出雲青年連盟大社支部が毎年企画しているイベントで、今年で8年目を迎えます。これまでぶどうの成長過程を観察してきた園児たちは、待ち望んでいた収穫を楽しみました。

園児たちは手銭さんからデラウェアの美味しい食べ方を聞き、園内を観察した後、青年連盟のメンバーと一緒に大きく成長したデラウェアを収穫しました。

手銭さんは「収穫体験などを通して、地域の特産であるぶどうに親しみ、興味を持ってもらえたら嬉しい」と話しました。



デラウェアの収穫を楽しむ園児

## 豪雨災害の被災地へタオルを JAしまね出雲女性部

JAしまね出雲女性部は7月25日、7月上旬に西日本豪雨で大きな被害を受けた島根おおち地区本部管内への支援として、タオルを贈りました。出雲女性部の高野智子部長らが島根おおち地区本部を訪れ、島根おおち女性部の寺内洋子部長にタオル1,000枚を手渡しました。

福祉施設への寄贈を目的に集めたタオルのうち一部を贈ったものです。高野部長は「集めたタオルを今必要としている場所があるのではないかと考えました。被災地の皆さんに役立てていただきたい」と話しました。

出雲女性部は7月から、部員から1人1枚、自宅から眠っている未使用のタオルなどを集め、福祉施設に寄贈する運動をしています。出雲地区本部でも協賛し、JA役職員から集めています。運動は9月まで続ける予定です。



高野部長(右)から寺内部長へ目録を手渡した

## 福祉施設へアスパラ贈呈 出雲市上津地区の生産者ら

出雲市上島町の國谷祐吉さんは7月18日、上郷営農組合の國谷信夫組合長とともに同市矢野町の特別養護老人ホーム「もくもく苑」を訪れ、アスパラガス約10キロを贈りました。

國谷祐吉さんは市内のアスパラガス栽培の先駆者で、27年前から栽培しています。「やわらかく、栄養があるアスパラガスを施設の皆さんに食べてもらいたい」と思い実施しました。

上津地区では高齢化、後継者不足でアスパラガス生産者数が減少しています。50人で20ヘクタールを経営する上郷営農組合は、現在水稻栽培が中心ですが、今後は特産振興にも力を入れる考えです。



アスパラガスを贈る國谷祐吉さん(右奥)と國谷組合長(右手前)

## JAしまね出雲集落営農組織連絡協議会 第16回定期総会開催

JAしまね出雲集落営農組織連絡協議会は7月9日、JAしまね出雲地区本部で「第16回定期総会」を開催しました。総会には営農組合、県、市、JAの関係者ら約110人が出席しました。

総会では、平成29年度の事業報告として、先進地視察や斐川町集落営農組合連絡協議会との合同研修会など、積極的な活動を展開したことを報告しました。平成30年度も引き続き、持続可能な水田農業・農業経営をしていくために研修会の開催や後継者の育成などを進めていくことを申し合わせました。総会終了後には、NOSA I鳥根から講師を招き、収入保険制度の研修会を行い、参加者全員で情報共有を図りました。

小村正会長は「農業を発展させ、地域を発展させることが人口減少の歯止めにもなる。集落営農組織の役割は非常に大きいと考えている」と話しました。

管内の集落営農組織の動向として、出雲地区本部管内で法人の設立が4組織、協業型へのステップアップが1組織ありました。また、情報交換を目的に、東部の15の営農組合で東部ブロック集落営農組織連絡協議会が設立され、横の連携も密になっています。



総会であいさつをする小村会長

## 高齢者福祉施設へ デラウェアを贈る JAしまね出雲青年連盟大社支部

JAしまね出雲青年連盟大社支部は7月6日、出雲市大社町の高齢者福祉施設の利用者へデラウェアを贈りました。

地元の特産デラウェアを食べて元気に過ごしてもらおうと、毎年実施しているもので、今年は5施設に、合計で2キロ箱17箱を贈りました。

複合型高齢者福祉施設サンライトを訪問した金築一成支部長は「例年より少し遅れていますが、品質は良いものができています。元気で夏を乗り切ってください」と話し、デラウェアを手渡しました。



デラウェアを贈る金築支部長

## デラウェアの収穫を体験 荒木小学校3年生

出雲市立荒木小学校の3年生71人が、出雲市大社町の手銭栄二さんのハウスでぶどう「デラウェア」の収穫体験を行いました。JAしまね出雲ぶどう部会大社地区青年部の6人と、JA西部営農センターの職員が指導しました。

これまで児童たちは、同地区青年部の協力を得て、ぶどうの学習会、ジベレリン処理・摘粒作業の体験、ぶどう集荷所の見学を通してぶどうについて学んできました。今回、これまで学んできたことを振り返りながら、心待ちにしていた収穫を楽しみました。

ハウスでは同部会青年部の伊藤康浩部長のギター演奏に合わせて「ぶどうの唄」をみんなで歌いました。この歌は、以前伊藤部長が当時の荒木小学校の児童らと一緒に作詞・作曲したものです。



デラウェアを収穫する児童

## 福祉施設に衣類乾燥機を贈呈 JAしまね出雲地区本部ガスセンター

JAしまね出雲地区本部ガスセンターは7月3日、JAいずも福祉会みどりの郷4施設に、ガス衣類乾燥機「乾太くん」4台を贈呈しました。贈呈式では、同地区本部の岡田達文副本部長がみどりの郷出雲の中尾忠正施設長に目録を手渡しました。中尾施設長は「梅雨時は洗濯物がなかなか乾かない。毎日のことなので助かります」と感謝を述べました。

「乾太くん」は、同ガスセンターでレンタルも取扱っています。本誌22ページをご参照ください。



岡田副本部長(右中)から  
中尾施設長(左中)へ  
目録を贈呈



みどりの郷平田に  
設置された「乾太くん」



## 夏休みの親子教室を開催 JAしまね出雲女性部西部地区

JAしまね出雲女性部西部地区は7月27日、「ふれあいの家大社あすっこ」で夏休みの親子教室を開きました。同地区の部員に参加を募り、8組19人が参加。JA生活文化協力員3人が協力し、パステルアートの制作と、クッキングを親子で楽しみました。

パステルアート制作では生活文化協力員の園山幸美さんが講師を務め、用意された図案をもとに、ステンドグラス風の作品を作りました。参加した女性部員は「思った以上に本格的で、かわいいものができた。家に飾りたい」と話しました。また、「家の光」に掲載されたメニューを盛り込んだ料理教室も開催。ちらし寿司やソーセージ風の簡単料理などに親子で取り組み、夏休みの思い出を作りました。



真剣にパステルアート制作に取り組む児童ら

## 現地講習会で高品質な野菜を JAしまねラピタ農産物直売会

JAしまねラピタ農産物直売会は7月28日、直売会員の圃場で現地講習会を開催しました。3会場で実施し、直売会員21人が参加。(株)山陽種苗のシードアドバイザー平田和哲さんが講師を務め、旬を迎えているナスとピーマンの剪定について説明しました。

講習会では、実際に農産物を見ながら状況に応じた管理を説明。品種の選び方なども含めて、売れる商品をつくるためのポイントを伝えました。また、台風の接近が予想される中、風が吹いても農産物が傷まないよう、支柱の立て方、結び方を実演。平田さんは「良い商品を出す人がいると直売所は変わる。売れるものをつくってもらいたい」と呼びかけました。

平田地区で会場を提供した南目章徳さんは「現場を見ながら指導してもらるのが一番分かりやすい」と話しました。



ピーマンの剪定方法を説明



7月  
講座

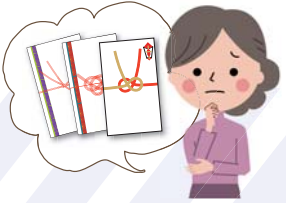
## 「冠婚葬祭マナー」

いづも JA  
シニア女子大学  
～みずき～

JAしまね出雲女性部は7月25日、いづもJAシニア女子大学の7月講座「冠婚葬祭マナー」を開催しました。女子大学生35人が参加。ユミ・プロデュース代表の池上由美さんを講師に、冠婚葬祭のときの服装や靴選び、贈答のマナーなどを学びました。

はじめに冠婚葬祭マナーはなぜ必要かを説明。池上さんは「冠婚葬祭は幅広い年齢の方が集まる機会、皆さん価値観もバラバラです。誰に対しても失礼にならないよう、決まったマナーが必要です」と話しました。

講座では、冠婚葬祭とはそもそも何か、結婚披露宴や葬儀でどのような服装、靴選びをすべきかを、クイズ形式を用いながら説明。今まで聞いたことのないマナーや慣習に、女子大学生たちが驚く場面もありました。池上さんは「冠婚葬祭マナーには地域性があるので、出雲では出雲の慣習に従ってください」と強調した上で、「松江や米子など、少し東に行くだけで慣習が違うこともあります。今日お伝えしている、現代の一般常識としてのマナーもぜひ知っておいてください」と話しました。



参加した女子大学生は「葬儀などマナーが分からず大変な思いをしたこともある。正しいマナーが分かってよかった」と話しました。



ご祝儀袋の使い分け方



乾杯の仕方も学びました



出雲市小伊津町  
やまおか いきお  
山岡 伊喜雄さん (86歳)  
ゆきえ  
幸枝さん (86歳)



小伊津町の漁港近くにお住まいの山岡さんご夫婦。伊喜雄さんは学校を出てから一昨年3月に引退するまで、70年間に渡って漁業に携わっておられました。50年以上前の小伊津では、ほとんどの人が漁で生活をしていました。

昭和60年頃までは「はえ縄漁」を行い、毎朝4時には出航していました。漁を終えて戻った後、「はえ縄」を元の状態に直し、えさを付けて準備するのは幸枝さんの仕事。毎日夜中までかかって翌日の準備をしたそうです。伊喜雄さんは「昔はたくさんあまだいが獲れていましたが、今では高齢化でずいぶん船が姿を消しました」と環境の変化を話します。その後はイカ釣りに携わっていたお二人。最後の船とは、一昨年まで30年間をともに過ごされたそうです。

旅行がお好きだというお二人。現役のころから地元のグループの旅行やJAの企画旅行などで日本中を旅してきました。また、伊喜雄さんは骨董品、幸枝さんは花を育てるのが趣味です。家の周りには1メートル以上あるカサブランカをはじめ、いろいろなお花の鉢が並びとても華やかです。このほか幸枝さんは長く畑仕事もしておられ、今年6月まで、約1アールの畑で大根やネギなどを育てていました。

健康の秘訣を尋ねると「運動をすることと、好き嫌いなく何でも食べることで」と話す、ますます元気なお二人です。



Smile  
さらりスマイル

宇那手町にお住まいの小村つぐみさん。大阪の美容学校を卒業した後、大阪で美容師をしていました。勤めていた美容室ではアシスタントの仕事のほか、雑誌に載せるヘアカタログの撮影などにも携わり、ヘアメイクのフォトコンテストに出品するために自分の作品を撮影することもありました。入賞した写真が雑誌に掲載されたこともあります。

1年前にUターンし、地元に戻ってきたつぐみさん。「いろいろな技術を身につけるため、まつげエクステなど新しい仕事にも挑戦したいです」と今後について話します。ヘアメイクでは、髪型のセット、メイクなど総合的な技術が必要になります。今まで培った技術に加え、更なるスキルアップを目指しています。

つぐみさんの趣味は映画鑑賞。美容学校の先生に勧められて勉強のつもりで見始めたのがきっかけです。洋画、邦画を問わず、毎日1本以上のペースで見えています。

今後の目標を尋ねると「美容に関わることを自分で総合的にできるようになりたい。結婚式のヘアメイクや、これまでやっていたヘアカタログの撮影などが地元出雲でできたらいいなと思います」と前向きに話すつぐみさんです。

出雲市宇那手町

小村おむら

つぐみさん(22歳)



## 7月講座「目からウロコの調理実習」

JALまね出雲地区本部は7月11日、いずもJA女子大学の7月講座「料理は科学と芸術だ!目からウロコの調理実習」を開きました。女子大学生20人が参加。「焼鳥レストラン えの屋」大将の後藤正寛さんを講師に、お酒と料理について学びました。

お酒の講義では、はじめに日本酒の製造工程や銘柄などを紹介。唎酒師の資格も持つ後藤さんが、精米歩合とは何か、よく言う「辛口」「甘口」とはどういうものかなどを分かりやすく説明しました。また、女子大学生たちは3種のノンアルコールワインとぶどうジュースのテイastingにも挑戦。後藤さんは「ワインを口に入れて、最初、中間、終わりに何を感じたか、ストーリー性を意識すると楽しく味わえます」と伝えました。

調理実習では各班に分かれて「鳥モモ肉の大根おろしにマCHEDニアソースをかけて」「真イカと長ナスのトマトパスタ」の2品を作りました。フルーツ



をたっぷり使用したマCHEDニアソースで味付けするなど、さわやかでおいしいメニューを学びました。

参加した女子大学生は「ノンアルコールワインは初めてでしたが、美味しかったです」「料理のレポーターが増えました!」と感想を話しました。

わが家の  
アイドル  
わが家自慢の  
アイドルをご紹介します!



おおくに さち はるま  
大國 紗知ちゃん(7歳・左中) 暖真くん(5歳・右中)  
そうすけ あかり  
颯祐くん(3歳・右) 彩莉ちゃん(1歳・左)

出雲市荒茅町

長女の紗知ちゃんは今年小学校に入学しました。算数が好きで字がとても上手。ピアノを習ってもうすぐ1年になります。きょうだい4人のまとめ役で、本をよんであげたり、紗知ちゃんをリーダーにみんなで歌を歌うこともあります。暖真くんは雰囲気明るくしてくれるムードメーカー。面白いことをしてみんなを笑わせてくれます。クワガタとプールが大好きで、この夏休み、海にも何回も行きました。颯祐くんは外で遊ぶのが好きな活発な男の子。魚が大好きで、おじいさんの魚釣りによく連れて行ってもらい、魚を見たり、さわったりしています。家でも棒を見つけると、魚釣りを真似て遊んでいます。末っ子の彩莉ちゃんは泣いているお兄さんたちを慰めてくれたりもする優しい女の子。言うこともよく分かってくれて、自分で「ねんね」と言って布団に入ります。家族みんなから可愛がられているわが家のアイドルです。

おとうさん、おかあさんからの一言

毎日楽しく過ごして、元気に大きくなってね。

J A し ま ね 出 雲 女 性 部  
グ ル ー プ 紹 介

佐田支部八幡原分会「稲田姫」

代表 石崎 友江 さん

踊りの好きなメンバー13人で活動する「稲田姫」。佐田町の「ごっこいまつり」や、八雲風穴開きなどのイベントに参加し、民謡に合わせて、かさ踊り、銭太鼓、鳴子踊りなど多様な踊りを披露しています。このほか市内の福祉施設の訪問や、J A 女性部運動会のオープニングで発表したこともあります。

活動を始めたのは14年前。振り付けは自分たちで考えることが多く、年1曲は新しい踊りを覚えるようにしています。昨年から安来節の先生に指導に来てもらい、踊りの質も向上してきました。練習は窪田コミュニティセンターで行い、イベントに向けて、1、2週に一回集まっています。現在は9月に開催される吉栗の郷のやまびこ星空コンサートを目指して練習を重ねています。

石崎代表の一言

私たち「稲田姫」は地元女性の集まりで、14年間楽しみながら続いています。知名度も上がり、福祉の関係、町内イベント、夏まつりと声をかけていただき励みになっています。今は9月の吉栗星空コンサートに向けて毎週タオル掛けで練習しています。女性のパワーで地元協力できれば幸いです。一人ひとりの絆を大切に、今後も頑張りたいと思います。



佐田支店 高野支店長からのメッセージ

「稲田姫」は、佐田地区内はもちろんです。出雲市内の福祉施設の訪問など、幅広く活動をされています。新しいメンバーも2名増え、さらに華麗な踊りを期待しています。9月9日(日)に佐田町の吉栗の郷で開催される「やまびこ星空コンサート」に出演されますので、皆さんお出かけください。

メンバー同士とても仲がよく、出雲市民余芸大会に参加した後、お食事会で一年の終わりを迎えるのを毎年楽しみにしています。このたび新しいメンバーも2人入りました。地元での知名度も上がり、ますます活発に活動しています。今後も地元の仲の良い仲間たちと、長く活動を続けていきます。

読者のページ

おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集！！

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。  
(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585  
出雲市今市町106番地1  
JAしまね出雲地区本部内  
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛  
✉メールでの投稿も大歓迎!  
unity@jaizumo.or.jp

公にも災害と認識されるほどの猛暑。夏も後半で、体力も落ちている時期です。どうか皆様で無理をなさいませぬよう。

●わが家のサラダにはいつもパプリカが入っています。国産パプリカを探していただくところ出雲産があり、感動したのを覚えています。甘みもあり、色合いもよく栄養満点!!もともと普及してほしいです!!  
(東福町 Y・Rさん)

JA：外国産が大半なので、地元出雲産のパプリカは目を引きますね！たくさん食べて普及させていきましょー！

●料理のレシピをいつも楽しみにしています。しまね🍷れしびの「あっさりゴーヤチャンプル」、簡単でおいしくてよかったです。また作ってみようと思いました。  
(松寄下町 T・Kさん)

JA：あっさりした味で夏にぴったりのメニューです。ぜひまた作って

てみてくださいませ！ゴーヤといえば、グリーンカーテンも普及してあちこちで見かけるようになりましたね。

●先日出雲産のシャインマスカットを食べました。甘くて大きな粒で、すごく美味しかったです。県外の友達にぜひ贈りたいと思いました。島根の自慢の味ですね。  
(古志町 Y・Mさん)

JA：今の時期、店頭に並んでいるとおいしそうでつい買ってしまいます。島根自慢の特産の一つですよ。今月号の「出雲で採れるうまいもん」でもシャインマスカットを特集していますのでぜひご覧ください！

●家庭菜園のコーナーを楽しみにしています。今月号はタマネギ。今年春収穫したのですが、玉も細く出来がまいちでした。来年こそは良い出来を望みます。記事を参考にしたいと思います。  
(大社町 G・Yさん)

JA：タマネギはいろいろな料理に使えますし、長く保存できるので家庭菜園にはもってこいだと思います。来年作るのが楽しみです！

グリーンセンターからのお知らせ

グリーンセンター全店で、8月24日(金)から8月28日(火)の間、秋の収穫前のグリーンフェアを開催致します。秋の収穫資材や刈跡除草剤をフェア価格にてご用意し、店員一同皆様のお越しをお待ちしております。

期間中特典!

- 現金にてお買い上げいただいた方はおさいふカードのポイント5倍!
- 「グリーンセンターけいふん」10袋購入で1袋プレゼント!
- 「カキ殻石灰サンライム20kg」5袋購入で卵1パック(6個入)プレゼント!

また、8月24日(金)から26日(日)の3日間は、3,000円以上お買い物されたお客様先着50名様に卵1パック(6個入り)プレゼントも実施します。



期間中現金にてお買い上げ頂いた方  
おさいふカード ポイント 5倍!



直売所紹介

# とびす市

営業日 毎週水曜日 AM9:00~11:30

場所 JAしまね鷹巣店隣

平成20年7月に開店し、地元産の新鮮な野菜のほか鮮魚やお菓子、手作りの工芸品なども販売しています。鷹巣地区で唯一買い物ができる場所で、市街地へ行くのが困難な高齢者の生活を支えるとともに、住民同士の交流の場にもなっています。

7月4日には10周年記念イベントを開催。節目を祝おうと地区内外から多くの人々が訪れました。おやじバンドの演奏が会場を盛り上げ、常設されている休憩コーナーではJAしまねやすらぎ会鷹巣支部の会員がうどんとシジミ汁を無料で振舞いました。



7月4日に10周年記念イベントを開催しました!



おやじバンドの演奏で会場は大盛り上がり!



休憩コーナーではやすらぎ会会員が来店された方をおもてなし

あなたの俳句・川柳を募集します

◆応募方法  
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたはFAXでご応募ください。  
※9月号掲載分の俳句の応募メ切りは8月31日金必着です。  
※10月号掲載分の川柳の応募メ切りは9月28日金必着です。  
※お一人様それぞれ3句までご応募いただけます。

◆あて先  
〒693-1858 出雲市今市町106-11  
JAしまね出雲地区本部「俳句の広場」係又は「川柳の広場」係 (FAX: 2116249)  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。  
※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。  
※受賞作品については地区名、氏名(または雅号)を掲載します。

今日もまた一喜一憂して暮れる  
ほうせん花飛んで幸せおすそ分け

所原町 櫛井 伸幸  
小伊津町 佐藤 勝枝

変身ができず農婦で来たモンペ

白枝町 小白金 房子

◆月間優秀賞

選者評

見上げた青い空に、こだわりなどは捨てなさいと諭された作者。素直に謝ることができました。心も青空のように澄み切ったことでしょう。

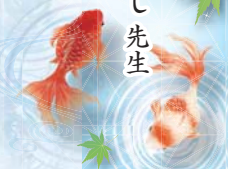
ごめんネも素直に言えた青い空

松寄下町 多久和 敬子

◆月間最優秀賞

川柳の広場

選者  
竹治ちかし先生



# おうちランドリー!!

## 自宅でコインランドリーの仕上がり!!

家事をラクにする一歩です。

人気急上昇!  
ガス衣類乾燥機  
売れ筋  
No.1



忙しい日だって、スピード乾燥!

そのうえ、家計にやさしい!

雨の日だって、ふっくら清潔!



Rinnai  
乾太くん  
RDT-52S

5kg  
タイプ

レンタル料金

月々 **800**円税込  
10年契約 ※特殊工事は別途

ご契約対象者

このチラシは JAしまね出雲ガスセンターをご利用のお客様を対象とします。

レンタル各種  
お問い合わせ先

 JAしまね  
出雲ガスセンター

出雲ガスセンター TEL28-1234  
平田ガスセンター TEL63-2111  
佐田ガスセンター TEL84-1011

## 健康ライフかわら版

### 暑い季節になりました! 熱中症にご注意を!

熱中症とは、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体内調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけではなく、室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。

★熱中症予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が重要です!

- こまめに水分補給をしましょう。
- 部屋の中でも熱中症は起こります。エアコンや遮光カーテン、すだれなどを上手に使いましょう。
- 自分の体調に合わせて、服装を調整したり保冷剤などを使いましょう。
- 脱水状態や食事抜きといった状態のまま暑い環境に行くことは、絶対に避けましょう。

★熱中症かな?と思ったら...

- 涼しい場所へ避難させる
- 衣服を脱がせ、身体を冷やす
- 水分・塩分を補給する

自力で水が飲めない、  
意識がない場合

📞 すぐに119番を!



お問い合わせ先 出雲保健所健康増進課 ☎21-8785

## 多肉植物寄せ植え講習会

### 9月15日(土)開催!

- 平田会場 / 10:00～  
JA平田中央支店会議室
- 出雲会場 / 14:00～  
出雲地区本部2階201会議室  
各会場定員は30名です。  
定員になり次第募集は終了させていただきます。
- 内容 / 多肉植物の寄せ植えを制作していただきます。  
所要時間は約1時間です。
- 参加費 / 1,800円(材料費込)
- 講師 / 飯塚農園



#### 多肉植物とは

多肉植物は茎や葉に水を貯めることができる植物です。  
ぷっくり肉厚で可愛らしく、最近人気を集めています。

- 各グリーンセンターへ電話でお申し込みください

グリーンセンター出雲 ☎21-6048  
グリーンセンター平田 ☎63-3662

グリーンセンター南 ☎25-0650  
グリーンセンター大社 ☎53-3939

## 出雲地区本部理事会報告

7月19日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

#### 〈協議事項〉

- (1)不良債権(残高管理債権)の処理方法について
- (2)平成31年度職員(正職員・店舗職員)高卒採用募集について
- (3)ふれあい号の今後の運行について  
ふれあい号の運行は、ふれあい店体制整備に伴い該当地区組合員の利便性の低下に対応するため開始しました。該当地区とJA施設(母支店、ラピタなど)間を無料で運行するサービスです。以下のコースがありますので、是非ご利用ください。  
・乙立コース・佐香コース・田儀コース  
・久村コース・日御碕コース・桧山コース  
・北浜コース・鰐淵コース

#### 〈報告事項〉

- (1)西部カントリーエレベーター自主検定装置並びに色彩選別機の更新について
- (2)大口貸出先の決算報告について
- (3)平成30年度年金受給者対応について  
今年は「すべての受給者の方に感謝すること」を目的として、コンサートの開催ではなく「抽選会」を実施いたします。抽選期間は7月25日から10月16日の間です。
- (4)組合と理事との取引(契約)について
- (5)平成30年6月末事業実績について
- (6)平成30年度総代会開催報告について
- (7)正組合員加入促進運動6月末運動実績について
- (8)平成30年度「家の光」長期愛読者拡大運動(案)について  
平成30年8月18日～平成30年10月31日までの間、長期愛読者拡大運動を展開します。是非この機会にご購読をお願いします。



# おいしくて形の良い ダイコン作り のポイント

板木技術士事務所 ● 板木利隆

ダイコンは、強大な根を速いスピードで地中に形成するので、根形や品質が土壌や肥料栄養の影響を受けやすい性質を持っています。

そのためには、次のポイントを押さえて育てることが大切です。

## (1) 畑の準備と元肥の施し方

少なくとも種まきの20日以上前に畑全面に石灰をまき、石ころや木切れなどを取り除きながら30cm以上の深さによく耕します。吸肥力は強い方なので、前作に堆肥が施してあれば、特に堆肥を与える必要はありません。

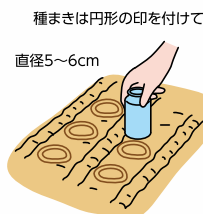
痩せ地で有機物不足が心配なら、完熟堆肥と有機配合肥料をよく混ぜ合わせ、事前に醗酵させた物を、株と株の間に当たる所に施し、根の伸びを妨げないようにします。

## (2) まきどきを守る

早まきし過ぎると病害虫の被害を受けやすく、遅過ぎると根の肥大不足になります。関東南部以西の温暖な平たん地のまきどきは8月中旬～9月中旬です。品種による違いもあるので、種子を求めるときに適期を確かめ、適期範囲のやや遅めにまき、管理を入念にして成長を促進するよう心掛けましょう。

## (3) 間引きと追肥、入念な土寄せ

種子は1カ所5～6粒を、瓶などで円状に付けた溝にまきます。発芽して本葉1枚の頃から8～9枚の頃にかけて3回ほど間引き1本立てにします。間引く際には、子葉がハート形で素直に開いている株を残すようにします。異常に育ちの早い株や、形が非対称の株は、岐根や短形



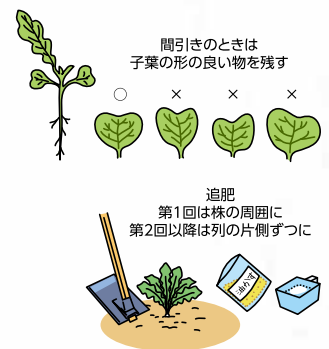
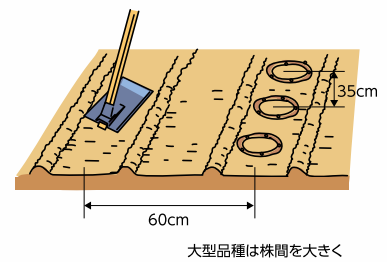
になる場合があるので残さないよう注意しましょう。

間引いたら株の周りに土を寄せ、風で振り回されないように保護し立ち上がらせます。追肥は第2回の間引き時から半月ごとに3回ほど与え、土を掛けて畝を作ります。肥料は化成肥料と油かすに加え、米ぬかを混ぜると食味が良くなります。

## (4) 害虫の予防、駆除を怠りなく

アブラナ科野菜の常として各種の害虫（シンクイムシ、コナガ、アブラムシ、ハスモンヨトウなど）の被害が出やすいので、早めに発見、適応農薬を散布して防ぎます。

農薬に頼らない防除法としてはソルゴーを何列か置きに作り障壁にすること、防虫ネットやべた掛け資材の被覆などがあります。被覆は種まき後3週間以内ぐらいにししないと生育に支障を来すので、除覆する時期に注意してください。



※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。





JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ  
**優待割引**のお知らせ



JALしまね ×



メガネの三城

メガネ一式  
**10%OFF!!**

補聴器  
**5%OFF!!**

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

島根県内メガネの三城 全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JALしまね 本店経済部生活課 [TEL] **0853-25-8907**

# 農業技術センターフェア

2018

～島根が魅せる、農業の‘いま’と‘みらい’～

[と き] 9月15日(土) 9:30~14:30

[と ころ] 島根県農業技術センター (出雲市芦渡町2440)

## 研究展示・セミナー

- ・メロンやブドウの育種、自家製発酵有機肥料等についてのセミナーと試食
- ・新技術等のパネル、現物展示、研究は場見学、栽培技術相談
- ・玄米の食味値測定 (1人2点まで: 1点につき玄米200g)

## 農産物・加工品販売

- ・職員が丹精込めて作った果物、野菜、花等の販売
- ・地域の特産物販売
- ・農福マルシェ (福祉事業所の製品)

## お楽しみイベント

- ・野菜収穫体験
- ・ビンゴ大会、クイズラリー、キッズコーナー
- ・農業女子農作業服の展示
- ・出雲農林高校太鼓部の演奏、ふれあい動物園

■お問合せ■

☎0853-22-6708 島根県農業技術センター

- ・JR 西出雲駅から徒歩10分
- ・国道9号線渡橋交差点から車15分



ラピタ

2019春入学\*

新作ランドセル  
入荷中!!

セイバン  
天使のおね

新作 **20%OFF**

旧モデル **30%OFF**  
数に限りがあります。お早めに!!

ラピタ本店 2階衣料品コーナー TEL 0853-21-6061

赤梨の収穫体験ツアー  
ご招待キャンペーン

抽選で  
ペア10組20名様ご招待!!

実施日 9月16日(日)

収穫場所 神門地区周辺の梨畑

応募期間

8月18(土)日~31(金)日まで

参加対象  
小学生6年生までのお子様と保護者の方2名様

応募方法  
上記期間中におさいふカードを提示してお買物をしていただき、2,000円以上(複数枚でも可)のレシートを店内備付の応募箱にご投函ください。

※詳しくは店頭にて

ラピタ本店生活用品課より

シロアリ **無料** 調査実施中!!

床下のシロアリ無料調査にお伺い致します。  
お気軽にお申し込み下さい。  
シロアリは気付かないうちに住みついているかも。早めの防除があなたの家を守ります。



**JAのハチの駆除**

ハチのシーズンになります。ハチは近寄らず、触らず!!  
最寄りのJA各支店に連絡下さい。ハチの駆除はプロにお任せください!!

お問い合わせ先

出雲地区本部 ラピタ本店生活用品課  
TEL:0853-21-6083

取扱業者

株式会社 **コタマサイエンス**  
Kodama 株式会社

(公社)日本しろあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

■本社 / 松江市西塚島2丁目8-23 ☎0852-43-0852  
■松江営業所 / ☎0852-26-6757



# 二十世紀梨

## ラピタの梨ギフト

赤梨

お届け 期間	8月下旬頃～ 9月下旬頃	承り 期間	ご注文日	8月19日(日) ごろまで	8月20日(月)～ 初出荷まで	9月1日(土) 以降
			お届け 目安	初出荷より 随時発送	9月5日(水) ごろの発送	9月10日(月) 前後の発送

全国発送承ります  
**全国一律 送料 1箱 300円** (税込)  
※ラピタにてご注文された梨(進物用)に限らせていただきます。  
 ※お届けの期日は指定できませんのでご了承ください。※クロネコヤマトでの発送となります。

承り順に発送して参りますが、産地での梨の生育状況、サイズ、重量により発送が前後する場合があります。(期日指定は出来ませんのでご了承ください。)

お申し込みはラピタ本店・各店で

サマープラン  
**Summer Plan**  
 期間:2018年7月1日(日)～8月31日(金)

<p>◆<b>バイキングコース</b>                  (30名様から承ります)                  お1人様 <b>5,500円</b></p> <p>飲み放題付!                  (2000円付)</p>	<p>◆<b>オードブルコース</b>                  (10名様から承ります)                  お1人様 <b>6,000円</b></p> <p>飲み放題付!                  (2000円付)</p>
---	---

プラン内容

- ★乾杯用ドリンクサービス(ワイン又は日本酒)
- ★会場費・税・サービス料込み
- ★飲み放題/乾杯より2時間
- ★飲み放題メニュー
- ・ビール・ノンアルコールビール・日本酒(熱燗)・焼酎
- ・ソフトドリンク(ジュース・ウーロン茶)

さらに選べる特典! お好きな特典をいずれか1つお選びいただけます。

- ① **セルフコーヒーサービス!**  
 無くなり次第、終了となります。
- ② **飲み放題グレードアップ!!**  
 (上記飲み放題コースにプラス...)  
 カクテル・ノンアルコール・ワイン・梅酒をプラス!
- ③ **飲み放題90分で、各コース500円引き!!!**  
 乾杯から90分(1時間半)の時間制限つきで、各コースおひとり500円引き(注)制限時間過ぎますと、通常価格となりますのでご注意ください。

「選べる特典」は、ご利用日の5日前までにお選びください。  
 ・お選び頂いた「特典」の変更はできません。また「特典」の併用はできません。  
 ・宴会終了時間は21時までとさせていただきます。それ以降のご利用の場合は別途延長料金5,400円(税込・サ別)を申し受けます。  
 ・人数変更はご利用日の前日午前中までとさせていただきます。それ以降のキャンセルにつきましては、おひとり当たり4,000円を申し受けます。(特典③を選ばれている方も同様です。)  
 ・上記プランには、消費税・サービス料・会場費が含まれています。プラン以外のご利用分については、別途サービス料が掛かります。

お問合せ  
 ご予約 **ラピタウエディングパレス**  
**TEL (0853) 21-6063**

**ラピタ**  
**ビアガーデン**

営業時間  
**PM5:30～PM9:00まで**

会場  
**ラピタ本店屋上**

うれしい低価格!!  
 通常料金

男性	<b>3,300円</b> (税込)
女性	<b>2,800円</b> (税込)
中学生 が 20歳未満	<b>2,000円</b> (税込)
小学生	<b>1,500円</b> (税込)
幼児 (3歳～6歳)	<b>500円</b> (税込)

**ご予約承ります 5名様以上**

ご予約・お問合せフロント  
**TEL:0853-21-6063**  
 (お問合せ時間 AM9:30～PM8:00)

# 謹んで豪雨災害のお見舞いを申し上げます

この度の大雨により被害を受けられました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

島根県農業協同組合  
代表理事組合長 竹下正幸

島根産まれの食材レシピ

## しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

### トマトカレー



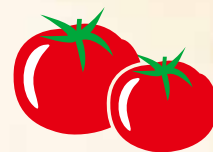
水を入れずトマトの水分のみで作るカレーです。トマトから水分が出るように弱火で煮込みます。いつものカレーにトマトを入れるだけで甘みと酸味がプラスされてとっても美味しいです。

#### ●材料（4人分）

米	2カップ	チリペッパー	小さじ1~
鶏もも肉	1枚	ターメリック	少々
玉ねぎ	2個	ガラムマサラ	小さじ少々
トマト	4個	カレールウ	4皿分
にんにく	1かけ		
サラダ油	大さじ1		

#### ●作り方

- ①鶏肉は一口大に切り、塩、コショウをする。
- ②玉ねぎは千切りにする。トマトは皮を湯むぎにし、1cm角に切る。にんにくはみじん切りにする。
- ③鍋に油を入れ、にんにくを入れ香りが出たら、玉ねぎを入れて炒める。
- ④鶏肉も入れ炒める。
- ⑤鶏肉に火が通ったらトマトを入れて炒め、弱火にしてフタをして煮込む。（好みにより、チリペッパー、ターメリック、ガラムマサラを入れる）
- ⑥トマトが煮崩れ、水分が出たらカレールウを入れる。



#### 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は簸川平野の稲刈り風景です。簸川平野は、主に斐伊川が運んだ土砂などが堆積してできた沖積平野で、肥沃で平らという特徴から、山陰でも有数の穀倉地帯として知られています。早いところでは8月に稲刈りが始まり、夏の入道雲と簸川平野の代名詞ともいえる築地松が相まって、当地特有の風景を見ることができます。

#### 編集後記

県内の多くの小学校では、JAが主催する「みどりを守る児童画コンクール」への出品を、夏休みの宿題の一環で取り入れていただいています。夏野菜の収穫や、おじいちゃんの畑仕事をお手伝いする様子など、素敵な夏を過ごしたことが伝わる絵ばかりで、私の毎年の楽しみです。今年はどんな夏だったかな？（和）

#### 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

